
構成された物語『一ツ目の自分』

嘩月ーka「d/z」ukiー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

構成された物語『一ツ目の自分』

【Nコード】

N3129J

【作者名】

嘩月ーk a「d／z」u k iー

【あらすじ】

ー
ー
ー
ー
ー
ー
ー

何も知らないなんて無責任な言葉 吐き捨てる僕は愚かなのか？

感じる事が単調に 決め付けの中で生きていく

『喜怒哀楽』 『春夏秋冬』 過ぎて行くだけでしかない

夢が薄れていく 決断も出来ずに歩く

意味を求めた 自分の生き方に

崩れた感受性に無表情で泣いた

涙脆い僕は消えた

何故人は人を想える事が出来る

例えそれが哀しみだとしても愛の感情 解らない僕は眺めていた

綺麗事並べた 汚い今を知っておきながら

汚染された夢は あまりにも簡単に散る

地に伏せた鳥が無言で訴える 「何故人は生を壊してしまう」

悩んだ揚句 無視して歩いた

この狭い視野で見するには世界は広すぎて 強がる僕は世界を知ったかぶる

その無知の中で諦めを自分で決めて 努力もせず世界に埋もれ

存在を示す事が出来ないのならば 一人ぐらい居なくたって忘れる
だろう

そんな事が何故か恐いと感じる 勝手な自己主張

生きる事に疲れたと言いながら 忘れられるのが恐いと言いつをした
だから無駄に時を過ごして小さな幸せとやらを 感じるふりをした

嗚呼 全ては後ろ向きな体制が生み出した空想だけど 現実が 今
が 僕が 生が 死が 愛が 恐くてたまらない

ららら ら ら

何も知らないから 口遊み逃げた

ららら ら ら

何も知らない

ららら ら ら……

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3129j/>

構成された物語『一ツ目の自分』

2011年1月15日23時15分発行